

保健師の力育成事業

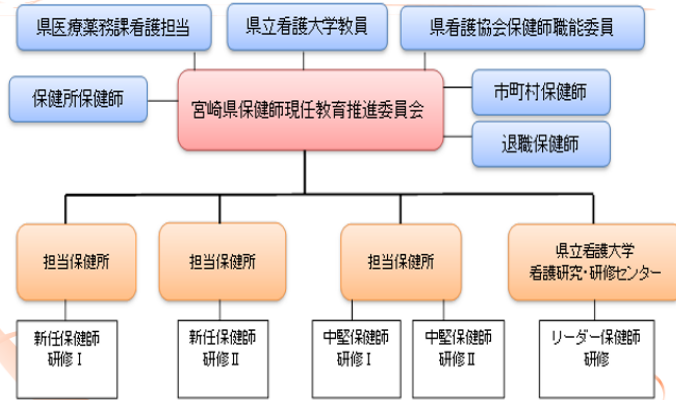


複雑多様な地域保健の課題を解決するため、保健師に求められる役割はますます大きくなっています。住民のニーズに的確に対応し、根拠を持って効果的な保健活動を展開するためには、保健師の資質の向上、実践力の向上が求められています。「保健師の力育成事業」では、保健師の現任教育を推進するために、系統だった研修プログラム開発や、宮崎県の現状を踏まえた現任教育の環境整備を進めています。

皆で後輩を育てる支援体制と風土づくり

宮崎県(医療薬務課)、宮崎県立看護大学看護研究・研修センター、宮崎県看護協会(保健師職能)の協働体制で事業を進めます。また、豊かな経験を持つ退職保健師や現場を知ったベテラン保健師、大学教員が、コンサルタントとなり、研修受講生への個別サポートを行います。

宮崎県における段階別保健師現任教育推進体制



保健師の実践力向上と保健師現任教育の発展のための体制づくり

「宮崎県保健師現任教育推進委員会」を設置し、保健師現任教育マニュアル(平成26年1月作成)に基づき、研修会等の企画、実施、評価を行います。研修では、キャリアに応じた組織・体系的な現任教育を行い、地域の健康課題に対応できる能力を獲得できるよう、OJTとOff-JTの連動を図ります。

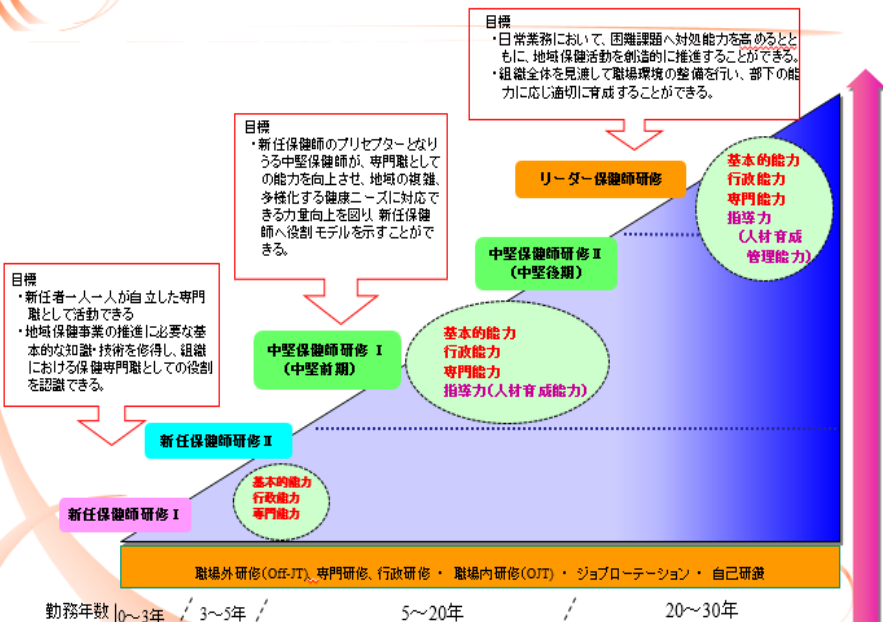
地域の健康課題解決に向けた保健師活動の推進

保健活動上の「問題意識」を大切にし、地域の健康課題を解決するために、PDCAサイクルを展開できる能力を高める実践型研修を行います。

宮崎県における段階別保健師研修体系

目指す保健師像

常に住民の生活と健康との関連を捉え、地域の顕在的・潜在的な健康問題を見出し、地域住民や関係者と共に地域のあるべき姿を描き、社会の情勢や期術に応え、健康的な地域社会を創っていくことのできる判断力と行動力を備えた保健師



研修プログラムの中で取組んだアクションプランの一例

● 新任期保健師

「独居高齢者に対する効果的なDOTS方法について」「精神科長期入院患者の地域移行支援について」「1歳6ヶ月児健康診査未受診者への受診勧奨方法の改善に向けて」「専門医のいない地域での難病支援について」など

● 中堅期保健師

「有料老人ホームにおける看取り体制整備に向けての支援」「管内における自殺未遂者支援」「K地域における生活習慣改善事業」など

● リーダー期保健師

「地域包括ケアシステムの構築に向けた体制整備に関する調査」「災害時の保健活動が円滑に行われるための取組」など